

QURUWA

の 未来 の 歩き方

まちの姿を変えるには、形だけでなく、「使い方」や「過ごし方」も変えていく必要があります。そこで、10月28日(土)に、市民や民間事業者の手で主要回遊動線「QURUWA」上に、このまちの未来の風景をつくりだすと共にまちの新しい使い方や過ごし方を体験する社会実験「めぐる、QURUWA」を実施します。本フォーラムでは、なぜこの社会実験をやるのか、その先にどんなまちの姿があるのか、「めぐる、QURUWA」の意義や楽しみ方について、専門家を交えて意見交換します。

乙川 リバーフロントフォーラム 2017

2017年 9月30日[土] 14:00 ▶ 16:00 (13:30 開場)

開催場所 / 図書館交流プラザ りぶら会議室301・302 (岡崎市康生通西4丁目71番地)

参加費 / 無料 定員 / 120名(当日先着順) 申し込み / 不要

おとがわ
プロジェクト

QURUWAの未来の歩き方

2017年9月30日[土] 14:00 (13:30 開場) ▶ 16:00

図書館交流プラザ りぶら会議室301・302 (岡崎市康生通西4丁目71番地)

第1部 講演

まちの未来を占う 「めぐる、QURUWA」の挑戦

講師：西村 浩

第2部 パネルディスカッション

「QURUWAの未来の歩き方」

パネリスト：清水義次 / 泉 英明 / 西村 浩

モデレーター：藤村龍至

パネリスト

モデレーター



清水義次

建築・都市・地域再生プロデューサー
アフタヌーンソサエティ代表
3331アーツ千代田代表

1949年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。マーケティング・コンサルタン会社を経て、1992年株式会社アフタヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュースを行う。



泉 英明

有限会社ハートビートプラン代表取締役
北浜水辺協議会理事

1971年東京都生まれ。高松、下関、豊田、大阪なんば、岡崎のまちなか再生や公共空間のプレイスメイキング、工業地域の住工共生まちづくり、着地型観光事業「OSAKA旅めがね」、水辺空間のリノベーション「北浜テラス」、「水都大阪」事業推進などに関わる。



西村 浩

建築家 / クリエイティブディレクター
株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役
オン・ザ・ルーフ株式会社 代表取締役

1967年佐賀県生まれ。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。1999年にワークヴィジョンズ一級建築士事務所を設立。都市再生戦略の立案からはじまり、建築・リノベーション・土木分野の企画・設計に加えて、まちづくりのディレクションからコワーキングスペースの運営までを実践する。



photo: Kenshu Shintsubo

藤村龍至

東京藝術大学美術学部建築科准教授
RFA主宰
おとがわプロジェクトデザインコーディネーター

1976年東京生まれ。2008年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。2005年より藤村龍至建築設計事務所(現RFA)主宰。2010年より東洋大学専任講師。2016年より東京藝術大学准教授。主な建築作品に「OM TERRACE」(2017)「鶴ヶ島太陽光発電所・環境教育施設」(2014)。



QURUWAとは

名鉄東岡崎駅、(仮称)乙川人道橋、籠田公園、りぶら、岡崎城など公共空間の各拠点を結ぶ主要回遊動線(主要なまちめぐりルート)。かつての岡崎城跡の「曲輪(くるわ)」に重なるところがあり、また、動線が「Q」の字に見えることから、「QURUWA」と表記しています。岡崎に人が「来るわ」という意味も込められています。